

プログラム

8:45 開会の辞

江口 晋
第38回日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会 当番世話人

8:50~9:25 一般演題 臨床・その他

座長：岡本竜弥（京都大学医学部附属病院 小児外科）
山根裕介（長崎大学外科学講座 小児外科）

1-1. 全結腸型ヒルシュスプルング病に対する右結腸パッチ付加根治術後の吻合部潰瘍に対しパッチ腸管切除術を施行した1例

福島県立医科大学附属病院小児外科 清水裕史

1-2. AI（人工知能）を介した3Dモデリングによる小腸移植用冷却ファンネルの改良：内部スパイラル水路の幾何学的最適化と冷却効率の向上

東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野 和田 基

1-3. 思春期男児の回盲弁無しの残存小腸35cmの短腸症候群に対するテデュグルチド治療経験
— 尿路結石発症への注意点も含めて

長崎大学病院外科学講座 小児外科 藤田拓郎

1-4. 腸管不全経過観察中に椎骨圧迫骨折を認めた2例

群馬県立小児医療センター 西 明

1-5. 当院における肝・小腸異時移植症例の検討

国立成育医療研究センター 臓器移植センター 阪本靖介

9:25~9:53 一般演題 最新の研究

座長：山田洋平（慶應義塾大学 小児外科・臓器移植センター）
田中秀明（福島県立医科大学 小児外科）

2-1. 基礎から臨床へ：腸管神経節細胞僅少症に対するヒト乳歯幹細胞を用いた新規治療法開発の進捗

九州大学病院 小児外科・成育外科・小腸移植外科 吉丸耕一郎

2-2. “自家再生小腸移植”は短腸症候群モデルの予後を改善する ～脱細胞化小腸の同所移植によって作製した再生小腸の治療効果評価～

京都大学大学院医学研究科肝胆膵・移植外科 岩城謙太郎

2-3. 腸管リハビリテーション研究に向けたヒトミニ腸の探索的研究

国立成育医療研究センター研究所 再生医療センター、福島県立医科大学附属病院 小児外科 南 洋輔

2-4. 小腸移植におけるドナー由来 cell free DNA 解析

慶應義塾大学外科 山田洋平

10:00~10:50 シンポジウム 多職種連携の重要性

座長：和田 基 (東北大学大学院医学系研究科 小児外科学分野)

田附裕子 (兵庫医科大学 小児外科)

特別発言：古川博之 (富良野協会病院)

3-1. 就学のためにリハビリテーション施設に入所した在宅静脈栄養法の症例を通して考える家族の負担

自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児外科 薄井佳子

3-2. 在宅栄養療法の見を取り巻く今後の課題

兵庫医科大学 小児外科 堺 貴彬

3-3. 在宅医療における医薬品提供からみた多職種連携

昭和薬科大学 申田一樹

3-4. 脳死小腸移植後のストーマ変更・離脱に関する検討

九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 松浦俊治

3-5. 小腸型ヒルシュスプルング病における病変腸管でのダブルストーマ管理による腸管リハビリテーション

神奈川県立こども医療センター外科 望月響子

10:55~11:15 総会

11:20~12:20 教育セミナー

共催：武田薬品工業株式会社

座長：江口 晋 (長崎大学外科学講座 肝胆膵・移植外科／小児外科)

『米国腸管不全センターの最前線：変わりゆく小腸移植適応と新たな挑戦』

Department of General Surgery, Digestive Disease Institute, Cleveland Clinic

藤木真人

12:30~13:20 ランチョンセミナー

共催：アステラス製薬株式会社

座長：曾山明彦 (長崎大学外科学講座 肝胆膵・移植外科／小児外科)

『日本における小腸移植の現状と展望』

大阪大学医学部附属病院 腸管不全治療センター

上野豪久

13:25~14:15 シンポジウム 成人腸管不全のcutting edge

座長：松島加代子（長崎大学病院 消化器内科／医療教育開発センター）

嶋村 剛（北海道大学病院 臓器移植医療部）

特別発言：小林英司（東京慈恵会医科大学 腎臓再生医学講座）

4-1. GLP-2アナログ製剤による腸管上皮細胞ダイナミクスの縦断的解析

東京都立小児総合医療センター 外科、慶應義塾大学医学部 外科学（小児） 工藤裕実

4-2. 経静脈栄養管理に難渋している成人ヒルシュスプルング病類縁疾患の1例

金沢医科大学 小児外科 中村清邦

4-3. クロウン病治療により腸管リハビリテーションが進展した腸管神経節細胞僅少症の1例

北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室 I 荒 桃子

4-4. 大阪大学腸管不全治療センターにおける成人患者と小児患者の比較

大阪大学 小児成育外科、大阪大学 腸管不全治療センター 宇賀菜緒子

4-5. 二度の脳死小腸移植を経て26才で失ったhypoganglionosis の一例を顧みて

熊本労災病院外科、熊本大学小児外科・移植外科、熊本大学病院病理部、

京都大学肝胆膵移植・外科／小児外科 猪股裕紀洋

14:25~15:15 スイーツセミナー

共催：ミヤリサン製薬株式会社

座長：田尻達郎（九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野）

『消化管疾患の腸をどう守る！？（IBD治療を中心に）』

長崎大学病院 消化器内科／医療教育開発センター

松島加代子

『腸内細菌による免疫制御機構とその生物学的意義』

慶應義塾大学薬学部 生化学講座

長谷耕二

15:20~15:55 一般演題 腸管リハビリテーション

座長：岡島英明（金沢医科大学 小児外科／小児高度外科医療センター）

日比泰造（熊本大学大学院生命科学研究部 小児外科学・移植外科学講座）

コメンテーター：猪股裕紀洋（熊本労災病院 外科）

5-1. 腸管不全患者における経口抗菌薬長期投与の有用性が示唆された3例

東北大学病院総合外科（小児外科） 櫻井 毅

5-2. 絞扼性腸閉塞術後の遅発性小腸狭窄により腸管温存戦略に苦慮した短腸症候群の1例

京都府立医科大学 小児外科 金 聖和

5-3. 十二指腸直腸吻合により腸管連続性回復を達成した超短腸症候群の1例

慶應義塾大学医学部小児外科 城崎浩司

- 5-4. 空腸瘻からの経腸栄養チューブ留置にて管理を行っている isolated hypoganglionosis の1例
熊本大学 小児外科・移植外科 本田正樹
- 5-5. 小児腸管不全関連肝障害に対する魚油由来脂肪乳剤の医師主導治験：治験実務終了報告
東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野、東北大学病院総合外科（小児外科） 和田 基

15：55～16：30 一般演題 臨床小腸移植

座長：阪本靖介（国立成育医療研究センター 臓器移植センター）

松浦俊治（九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野）

コメンテーター：藤木真人（Department of General Surgery, Digestive Disease Institute, Cleveland Clinic）

- 6-1. 壊死性腸炎から腸管不全関連肝障害を合併した在胎24週超低出生体重児の1例
京都大学 外科（肝胆膵・移植外科/小児外科） 岡本竜弥
- 6-2. 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症（MMIHS）に対する（肝）小腸移植の経験
東北大学病院 総合外科（小児外科） 工藤博典
- 6-3. 低体重児脳死小腸移植における門脈系静脈再建の工夫：血管グラフト間置による脾静脈端側吻合を用いた1例
国立成育医療研究センター 臓器移植センター 柳 佑典
- 6-4. 脳死膵小腸同時移植後にPTLDを発症した一例
京都大学肝胆膵・移植外科/小児外科 門久政司
- 6-5. 超短腸症患者に対し異時性に生体肝移植・脳死小腸移植を施行した一例
国立成育医療研究センター 移植外科 大城絢音

16：30～16：35 研究奨励賞授賞式

16：35～16：40 閉会の辞

江口 晋
第38回日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会 当番世話人

田中秀明
第39回日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会 当番世話人